

日本スポーツ社会学会 第18回大会のご案内

開催期間

2009年3月23日(月)・24日(火)

会場

関西大学 千里山キャンパス 第三学舎(社会学部)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
阪急千里線 関大前(南出口)下車 徒歩5分

主催

日本スポーツ社会学会

日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
22日								2008年度後期 理事会			
23日	2008・2009年度 合同理事会		受付	一般発表I		国際シンポ		総会	懇親会		
24日	一般発表II		講演	昼食	一般発表III	研究委員会シンポ					

参加申し込み

学会第18回大会ホームページの「参加申し込み」から、フォームに従って必要事項を記入の上、送信してください。大会実行委員会までFAX、または郵便も可能ですが、できる限りホームページから申し込んでください。参加申し込みと同時に、郵便振替にて大会参加費を大会事務局口座までお送り下さい。

【参加申込先】

大会HP <http://www.jsss.org/>

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学社会学部

日本スポーツ社会学会第18回大会事務局 宛

TEL/FAX 06-6368-0762 kuroda@ipcku.kansai-u.ac.jp

【参加費】

正会員 10,000円 (懇親会不参加の場合 6,000円)

学生会員 7,000円 (懇親会不参加の場合 3,000円)

【振込先】

郵便振替 口座番号 00950-4-142532

口座名称 日本スポーツ社会学会第18回大会実行委員会

プログラム (Program)

3月22日(日)

◆理事会 15:00～17:00 (302 第2会議室)

3月23日(月)

◆新旧合同理事会 10:00～12:00 (302 第2会議室)

◆若手研究会 10:00～12:00 (3302 教室)

テーマ「近代スポーツ文化と社会学」

コメンテーター 笹生心太 (一橋大学博士課程)、乗松 優 (九州大学博士課程)
田中 麗 (関西大学修士課程)、宮坂雄悟 (東京学芸大学博士課程)

登壇者 西山哲郎 (中京大学現代社会学部准教授)

司会 高尾将幸 (筑波大学博士課程)、原 祐一 (東京学芸大学博士課程)

◆受付開始 11:30～

◆一般発表 I 13:00～15:00

1、スポーツ政策 <会場1:3401 教室> 座長:清水 諭(筑波大学)

1)金子 史弥(一橋大学大学院)

英国におけるスポーツ政策ネットワークに関する研究ーガバナンス論からのアプローチー

2)田中 暢子(ラフバラ大学大学院)

日英の障害者スポーツの発展においてー政策課題とさせた背景の考察ー

3)棚山 研(羽衣国際大学)

ドイツのスポーツクラブ活性化策と地域連携ーケルン市「大都市におけるスポーツ」プロジェクトをめぐってー

4)山口 泰雄(神戸大学)

フィンランドのスポーツ・健康政策のー考察

2、都市とスポーツ <会場2:3402 教室> 座長:永井良和(関西大学)

1)小林 ゆき(東洋大学大学院)

公道レースの<場所>と<空間>への視座ーマン島 TT レースの事例からー

2)長津 詩織(北海道大学大学院)

集客装置化する都市におけるスポーツスタジアムの変容ー「ファンタジーシティ」論を中心としてー

3)坂井 康広(阪南大学非常勤)

プロ野球と地域の関係性

4)千葉 直樹(北翔大学短期大学部)

1980年代以降のNBAのグローバル戦略と経営

3、学校教育とスポーツ <会場3:3403 教室> 座長:菊 幸一(筑波大学)

- 1) 酒本 絵梨子(東京学芸大学大学院)
通過儀礼としての「登山」体験 –「自由学園」に見られる「遠足」のヒューマンドキュメントから–
- 2) 眞砂野 裕(東京学芸大学大学院)
「知識基盤社会」における学校とスポーツの関係
- 3) 風間 孝(中京大学)、飯田貴子、吉川康夫、藤山新、松田恵示、來田享子
学校教育の体育・スポーツにおける性的マイノリティの疎外感および抑圧経験 –アンケート調査結果報告–
- 4) 田中 純夫(順天堂大学大学院)、山本 真己、中山 恵一、北村 薫
身体活動に対する認識と有能感および学校適応との関連

4、国際セッション I <会場4:3404 教室> 座長:海老島 均(びわこ成蹊スポーツ大学)

- 1) Pan Chia Chun (国立台湾師範大学)
A study of Taiwan's Tai Chi Conduction Exercise Culture
- 2) 倉島 哲 Satoshi KURASHIMA(京都大学)
Continuity and Variation in the Transmission of Tai Chi: A Case Study in Manchester
- 3) 斎藤 文彦 Fumihiko SAITO(マーキー・インターナショナル・ジャパン)
Professional Wrestling: How A Sport Became A "Performing Art"

◆実行委員会・国際交流委員会共同企画 15:10~17:00

(会場:4101 ソシオAV大ホール)

国際シンポジウム:「伝統スポーツの復興」

発表者:

- 1) Lorenzo Bani (イタリアピサUISP会長)
「ピサ、ジオッコ・デル・ポンテの復興」
- 2) 易 劍東(北京体育大学)
「中国における伝統スポーツの再生と発展の方向」
- 3) 熊野 建(関西大学社会学部)
「北部ルソン島イフガオにおける民族スポーツの復興」

コメンテーター:黒田 勇(関西大学)

司会:杉本厚夫(京都教育大学)

◆学会総会 17:10~18:00 (会場:4101 ソシオAV大ホール)

◆懇親会 18:10~19:30 (カフェ・ソシオ)

3月24日(火)

◆一般発表Ⅱ 9:00～11:00

1、スポーツとメディア <会場1:3401 教室> 座長:牛木素吉郎(スポーツジャーナリスト)

- 1) 王 篠舟(関西大学大学院)
北京オリンピックにおける劉翔の描かれ方 – 中国のマス・メディア報道と北京市民のアンケート調査を手掛りに–
- 2) 田中 麗(関西大学大学院)
「福原愛」を読み解く
- 3) 清水 泰生(日本マスターズ陸上競技連合)
スポーツ種目による実況中継のスタイルについて
- 4) 溝口 紀子(静岡文化芸術大学)
メディア・スポーツによる柔道の変容

2、スポーツと公共 <会場2:3402 教室> 座長:山口泰雄(神戸大学)

- 1) 奥田 睦子(金沢大学)
障害者の地域におけるスポーツ参加を支える社会的しくみとその意義に関する一考察 – ドイツにおける医療保険を活用したしくみを事例として–
- 2) 常行 泰子(神戸大学大学院)、山口泰雄
性差からみた高齢者の運動ステージと運動セルフ・エフィカシーに影響を及ぼす要因に関する研究
- 3) 森 政晴(駒澤大学大学院)
スポーツボランティアと運営組織の研究 – 双方の関係と互いが求めているもの–
- 4) 後藤 貴浩(熊本大学)
公共スポーツ施設における指定管理者制度の意味

3、学校体育 <会場3:3403 教室> 座長:松田恵示(東京学芸大学)

- 1) 小林 浩平(東京学芸大学大学院)
職能意識からみた体育教師のキャリア形成に関する研究
- 2) 鈴木 聡(東京学芸大学大学院)
「重要な他者」が体育教師の職業的社会化に及ぼす影響
- 3) 神野 賢治(金沢星稜大学)、谷口 勇一
国民体育大会の社会的意味の検証と再考 – 大会参加の児童・生徒にみる「教育効果」とその持続性を視座にいれて–
- 4) 山ノ口 寿幸(筑波大学大学院)、林伯修
東京都公立学校における「スポーツ教育推進校」の目的と現状

4、国際セッションⅡ <会場4:3404 教室> 座長:東元春夫(京都女子大学)

1)林子郁 Lin、Tzu-Yu (National Taiwan Normal University)

The influences of leisure environment on the elderly

2)鈴木 直文 Naofumi SUZUKI(東京大学)

Building Capacity for Sport Development? An Analysis of the Use of Sport in Overseas Development Assistance: A Case of the Japan Overseas Cooperation Volunteers

3)孫秉宏 Sun Ping-Hung ((National Taiwan Normal University)

“Hoop Dreams” – A NBA Challenging Story of Two Basketball Players from Taiwan (報告辞退)

◆実行委員会・国際交流委員会共同企画 11:10~12:00 (会場:4401 教室)

講演:「北京オリンピックとメディア」

- ・ 龔文庠 (北京大学新聞与傳播学院教授、傳播与文化研究所所長)

◆一般発表Ⅲ 13:00~14:30

1、スポーツと開発 <会場1:3401 教室> 座長:内海和雄(一橋大学)

1)石原 豊一(立命館大学大学院)

プロスポーツのグローバル化における「スポーツ移民」の変容 –「野球不毛の地」イスラエルに集う「プロ野球選手」の観察から–

2)岡田 千あき(大阪大学)

開発途上国における“コミュニティ・スポーツ”活動の形成過程に関する研究

3)林 伯修(国立台湾師範大学)、洪 煌佳

台湾の東部における原住民学生選手の「野球キャリア」

2、スポーツと価値 <会場2:3402 教室> 座長:亀山佳明(龍谷大学)

1)岡部 祐介(早稲田大学大学院)、渡 正

わが国における競技者を取り巻く「重圧」の形成に関する一考察 –佐藤次郎と円谷幸吉に着目して–

2)原 祐一(東京学芸大学大学院)

マナーをめぐる贈与交換と純粋贈与という視点から捉えるスポーツマンシップ

3)宮坂 雄悟(東京学芸大学大学院)

スポーツにみられる「遊び」としての状況定義に関する研究

3、スポーツとコミュニケーション <会場3:3403 教室> 座長:中江桂子(成蹊大学)

- 1)大橋 忠和(聖徳大学付属中学校高等学校)
部活動指導者と選手の相互作用におけるスポーツシンボルの一考察
- 2)横田 英之(東京学芸大学大学院)
スポーツにおけるコミュニケーション特性に関する研究
- 3)村上 智恵(東京学芸大学大学院)
スポーツ行為における時間意識と「まなざし」に関する研究

4、スポーツと身体 <会場4:3404 教室> 座長:池井 望

- 1)岡田 光弘(国際基督教大学)
スポーツ実況からみる「応援」の文法
- 2)山本 真己(順天堂大学大学院)、田中 純夫、中山 恵一、北村 薫
身体活動に対する認識が反応的攻撃性に及ぼす影響 — 認知的共感性に着目して—
- 3)小谷 寛二(福山平成大学)
共振する社会的身体(その 3) — “Rhythm—Resonance—Flow” の関係性における視点から—

5、スポーツと近代化 <会場5:3302 教室> 座長:西山哲郎(中京大学)

- 1)藤原 昌樹(川村学園女子大学)、北村 薫
剣道の近代化と段位制度の社会学的研究
- 2)山本 拓司(東京大学大学院)
戦前期日本のスポーツと明治神宮外苑
- 3)影山 健(元愛知教育大学)
「スポーツ社会学」の今日的課題について — “抵抗としてのスポーツ” に向けて—

◆研究委員会企画 14:40~16:40 (4401 教室)

シンポジウム 「スポーツ・身体・ナショナリズム」

シンポジスト:

- 1)清水 諭(筑波大学)
スポーツとナショナリズム — その問題構成 —
- 2)阿部潔(関西学院大学)
ナショナリズムをめぐるスポーツ／メディアの論理と心情 — スペクタクル化する「ナショナルなもの」とオーディエオンス—
- 3)池田恵子(山口大学)
近代日本における女性とスポーツ — 良妻賢母主義からファシズム下の母性主義フェミニズムまで—

指定討論者: 萱野稔人(津田塾大学)

司会: 小笠原博毅(神戸大学)